

「JA新はこだて花卉生産出荷組合」産地紹介

JA新はこだて花卉生産出荷組合の柱の品目でありますカーネーションは北海道道南（七飯町・北斗市）を中心に生産者50名でスプレー系約80品種、スタンダード系約60品種を生産。出荷時期は夏場をメインに12月までの出荷でスプレー系約1,500万本、スタンダード系で約300万本の出荷を予定しております。

産地の取り組みと致しましては、府県産地とのリレー出荷に取り組んでおり、長崎県と「こんぺいとう」、香川県オリジナル品種の「ミニティアラピンク・クリーム」を生産し、リレー出荷による安定した供給体制に取り組んでいます。また、新はこだてのオリジナル品種「ノンノン」にも力を入れ、独自性を持った生産を進めています。

また、JA新はこだて花卉生産出荷組合カーネーション部会の内部会員12名で「育種クラブ」を立ち上げ、未来に繋がる活動を進めており、新技術を中心とした勉強会などを行い、次の世代を担う活動を行っています。

また、前処理方法を関係機関の協力を頂き、試験を重ねた結果、日持ちや発色効果向上の期待ができる糖分入り延命剤を通年使用することを義務付け、前処理環境（吸収量を上げる対策）を見直すことで、より確実な前処理を実施しています。

～JA新はこだて花卉生産出荷組合の概要～

平成14年の北海道渡島管内13JAの合併を機に、1年間の協議会を経て、翌年の平成15年にJA新はこだて花卉生産出荷組合を立ち上げました。

現在は組合員数104名で、品目部会のカーネーション、トルコギキョウ・アルストロメリア・デルフィニューム・かすみ草・りんどう・ゆり・われもこう・アスターの9部会と青年部を中心に活動を展開。部会活動では、生産管理技術の高位平準化のため、生産から出荷までのプロセスを部会員全員で協議し魅力ある商品づくりを進めています。

また、北海道道南の花き栽培に適した気候条件を活かし、発色豊かな花き生産を行うことができるため、夏場の品質には定評を得ています。

こらからの本格出荷に向けて、組合員一同、安心且つ、満足して頂ける商品づくりを目指し、精一杯努力して参りますので、今後とも宜しくお願い致します。

